

地域連携推進センター ニュースレター 〈第40号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者:吉用武史

はじめに

第26回国立大学法人共同研究センター長 等会議 in 北見工業大学

9月25日(木)及び26日(金)、北見工業大学において全国の国立大学の地域共同研究センター等によるセンター長会議が開催されました。

国立大学法人化10年を節目に「ミッションの再定義」が行われ、昨年11月には「国立大学改革プラン」が策定され、各大学が強みや特色を活かした機能強化に取り組んでいます。今回の会議では、今後10年を見据えた将来の共同研究センター等の活動を新たなステージへと前進することを目的に「共同研究センター等活動の新展開」が全体テーマとなり、分科会A「将来に向けた共同研究センターの役割と機能」、分科会B「社会連携の多様性及び地域固有課題への対応」が設定され、今後の大学による社会貢献の在り方について様々な議論が交わされました。



目次

p1 はじめに

p2 域学連携推進部門

Topic1. 高知市庁議における地域協働学部及びKICS紹介

Topic2. 室戸市連携協議会

p3 産学官民連携推進部門

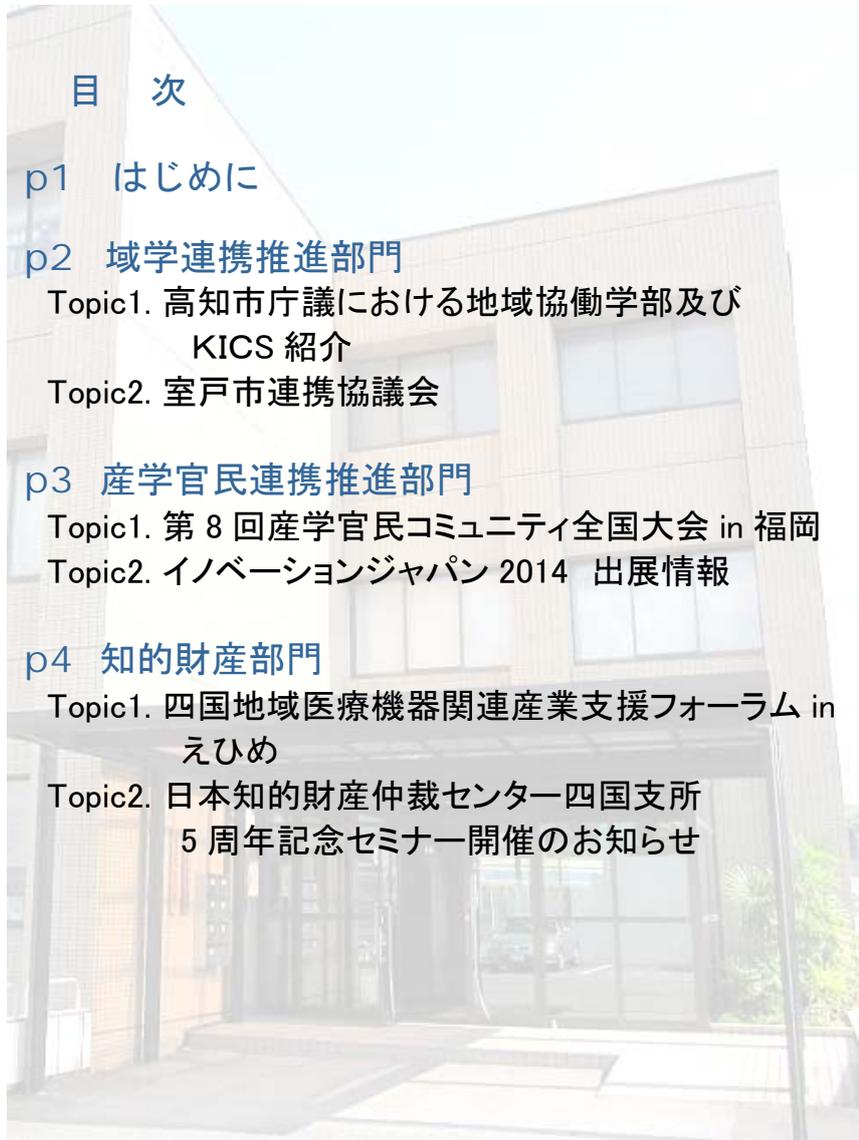
Topic1. 第8回産学官民コミュニティ全国大会 in 福岡

Topic2. イノベーションジャパン2014 出展情報

p4 知的財産部門

Topic1. 四国地域医療機器関連産業支援フォーラム in えひめ

Topic2. 日本知的財産仲裁センター四国支所5周年記念セミナー開催のお知らせ



Topic 1. 高知市庁議における地域協働学部及びKICS 紹介

7月9日(水)に行われた高知市・高知大学コーディネーター会議において、市から地域協働学部及び「高知大学インサイド・コミュニティ・システム(KICS)化事業」について、役所の各部局への詳細な説明を求められたことを受け、9月1日(月)、高知市庁議に出席し、高知市の岡崎市長を始め、副市長や各部局の部課長に対して、KICS および地域協働学部について紹介しました。

本学から、受田地域連携推進センター長、上田地域協働教育学部門教授、大崎コーディネーター(高知市地域担当)が、KICS の概要とその具体的活動及び地域協働学部の詳細について説明しました。

高知市からは、KICS 及び地域協働学部において、市と大学がより機動的に連携するため、1年に約1回のコーディネーター会議とは別に、新たな実務者級の情報共有・意見交換会を設けることが提案されました。

今後、新たな会議を設け、より緊密な連携のもと、様々な連携事業を進めていくことが期待されます。



Topic 2. 室戸市連携協議会

室戸市とは平成17年8月9日に連携協定を締結し、世界ジオパーク認定への協力、水中運動プログラムやロコトレによる地域健康増進活動への協力など、様々な事業を推進してきました。今後もお互いに発展的な連携を図っていくため、9月4日(木)に室戸市役所にて連携協議会を開催しました。

室戸市からは小松市長、久保副市長をはじめ関係各課長、高知大学からは受田地域連携推進センター長、石塚副センター長、上田地域協働教育学部門教授、赤池コーディネーター(安芸地域担当)をはじめ、地域連携担当教職員が出席。これまでの連携事業を整理するとともに、室戸海洋深層水を使用した臨床試験など、近年の大きなトピックについても改めて連携して進めていくことが確認されました。



Topic 1. 第8回産学官民コミュニティ全国大会 in 福岡 開催報告

『第8回 産学官民コミュニティ全国大会in福岡が、平成26年9月20日(土)13時より九州工業大学戸畑キャンパスにて開催されました。

文部科学省、経済産業省からの応援メッセージ、前福岡県知事 麻生 渡 様による基調講演がありました。産学官民連携の取り組み事例が4例報告され、当センターの受田センター長が“ものづくり「課題先進県における地方大学の挑戦！！～日本一光輝く田舎づくりを目指して～”と題して事例報告を行いました。その後、5会場に分かれ、プレゼンテーション大会が開催され、全国各地の地域活性化に取り組む組織の活動報告が行われました。

大交流会では全国各地で産学官民連携活動を行っている皆様が一同に会し、情報交換が行われました。

【参加者数】

全体会、プレゼン大会：約300名、交流会：約150名



Topic 2. ～イノベーション・ジャパン2014～ 出展情報

9月11日から13日の間、東京ビッグサイトにおいて、大学等から創出された研究成果の社会還元を促進するため、大学側から産業界に対して、研究成果の内容を成果物やパネル等で紹介する国内最大マッチングイベントである「イノベーション・ジャパン2014－大学見本市－」が、独立行政法人科学技術振興機構(JST)と独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)主催で開催されました。2日間で2万4千人の来場者があり、各企業、各大学、研究機関等の研究者によるプレゼンテーションやポスター展示を通じて最新の研究成果の発表等が活発に行われました。

交流会では、JSTの理事長のあいさつの後、各大学の研究者、産学官民連携担当者、関係企業様などの皆様が一同に会し、出展内容などの情報交換が行われました。

本学からの出展者

総合科学系 複合療育部門 特任講師 片岡正典先生
研究課題「新規モノマーによるRNA液相合成法」



Topic 1. 四国地域医療機器関連産業支援フォーラム in えひめ ～ 医療現場ニーズに対応した製品開発のために～

四国地域医療機器関連産業支援フォーラムでは、医工連携ネットワークを強化・構築し、医療現場ニーズに対応した製品開発を進めるための方策等について、基調講演や四国内外の先進事例報告、よりよい支援のあり方を検討するグループワークが行われます。

医療分野への進出や事業化を進める企業、大学・高専、医療機関・商社、産業支援機関や行政等、ご興味のある方はご参加ください。

日時：平成26年10月7日(火) 13:00～17:30

場所：松山市総合コミュニティセンター(松山市湊町7-5)

詳しいプログラム内容、申込方法等は下記をご覧ください。

<http://www.innovation-net.jp/event/med-forum/1007/1007.html>

http://www.shikoku.meti.go.jp/soshiki/skh_b1/3_event/140821/140821.html

【経済産業省 医工連携事業化推進事業】
医工連携による医療機器事業化全国支援機関ネットワーク 地域会議

四国地域医療機器関連産業支援フォーラム in えひめ

「医療現場ニーズに対応した製品開発のために」

2014年10月7日(火) 13:00～17:30
松山市総合コミュニティセンター
(松山市湊町7-5)

参加 無料

対象 医療機器開発に積極的に取り組む産業界、自治体、大学、金融機関等のコーディネーター、支援担当者及び医療機関の関係者、並びに医療機器専門商社、メーカー、もの作り企業経営者など

申込 下記URLよりお申し込み下さい
(全国イノベーション推進機関ネットワーク)
<http://www.innovation-net.jp/event/med-forum/1007.html>

主催 経済産業省、株式会社三菱総合研究所、一般財団法人日本立地センター、全国イノベーション推進機関ネットワーク

共催 四国産学官連携イノベーション共同推進機構(SICO)、健康支援産業創出ネットワーク会議

後援(予定) 愛媛県、公益財団法人えひめ産業振興財団、四国地域イノベーション創出協議会、一般財団法人四国産業・技術振興センター

お問い合わせ先
一般財団法人日本立地センター 地域イノベーション部 大崎・梶川
TEL:03-3518-8964 E-mail:innova@jilc.or.jp

次回開催予定 2014年12月11日 三重県(津市)

四国地域医療機器関連産業支援フォーラム in えひめ プログラム(予定)	
第1部	挨拶 13:00～13:10 経済産業省 四国経済産業局 愛媛県
	基調講演 13:10～13:50 「日本の医療機器ビジネスに欠けていた分析・覚悟・行動」 石原 謙 氏 愛媛大学大学院医学系研究科 教授
	休憩
	事例報告① 14:00～14:30 「医療ニーズ発掘から商品化に至る異業種連携にゲートキーパーを配した事例」 西 謙一 氏 シップヘルスケアホールディングス株式会社 グループ統括室
	事例報告② 14:30～15:00 「製販ドリンモデル、産業支援機関及び医工連携支援コーディネーターに求められる役割」 柏野 聡彦 氏 一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ 理事 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング 主任研究員)
	事例報告③ 15:00～15:30 「手術不能な腫瘍に対する新たな焼灼治療システムの開発」 中住 慎一 氏 株式会社アドメック 代表取締役
	活動紹介 15:30～15:40 土居 修身 氏 愛媛大学社会連携推進機構 副機構長・知的財産センター長 教授(SICOアソシエイト)
	活動報告 15:40～16:00 「愛媛県内における医工連携・産学連携活動の現状と支援課題」 川真田 康人 氏 公益財団法人えひめ東予産業創造センター
	休憩
	第2部
グループワーク 16:10～17:30 テーマ 「医療現場ニーズに対応したものづくり支援について」 山田 栄子 株式会社三菱総合研究所 主席研究員	
主催者報告	
交流会 17:40～19:00 1Fレストラン「北斗」にて(参加費用:3,000円) ※講演者・時間は変更になる場合があります。	

Topic 2. 日本知的財産仲裁センター四国支所5周年記念セミナー 開催のお知らせ

日本知的財産仲裁センターは、日本弁理士会と日本弁護士連合会が1998年3月に工業所有権の分野での紛争処理を目的として設立され、同年4月1日より運営を開始したADR(裁判外の紛争解決手段)機関です。四国には2009年に四国支所が設立され、このたび5周年を迎えました。

このセミナーでは知財紛争の合理的解決手段とともに、日本知的財産仲裁センターの活動が紹介されます。ご興味のある方はご参加ください。

日時：平成26年10月10日(金) 13:30～16:30

場所：高松市サンポート 高松シンボルタワー内第1小ホール

詳しいプログラム内容、申込方法等は下記をご覧ください。

<http://www.ip-adr.gr.jp/news/data/news140819.pdf>